

Linux

tigervncserver(standalone)に接続し、ログアウトするとtigervncserverサービスが終了する

○ 確認環境

A95XF3-AIR
Armbian 24.11.0-trunk.346 bookworm
Base: Debian GNU/Linux 12 (bookworm)

○ 状況

tigervnc-standalone-server (1.12.0+dfsg-8) をインストールし設定を行っていたが、systemdにて起動する為の「tigervncserver@.service」がパッケージに同梱されていた。しかしながら、1度接続しログアウトを行うと、tigervncserverサービスも終了し、再接続する場合は、再度起動しなければならない。

○ 対応方法

- ・ systemdの.serviceファイルをコピーしてカスタマイズする
 - ・ tigervncserver@.service を直接変更する
 - ・ systemctl edit コマンドを使う
- 等々、手法はあるが。

無難にsystemctl editを使う。パッケージアップデートでtigervncserver@.serviceが上書きされても困るし。。。

```
# systemctl edit tigervncserver@.service
```

```
[Service]  
Restart=on-success
```

上記2行を追記し保存。

○ 弊害

tigervncserverが起動している状態では、XWindowでのローカルログインは出来ない現象が発生している。おそらく仮想Xセッションが保持されている為と思われる。ローカルディスプレイを使用する場合は、tigervncserverサービスは停止させる必要がある。(参考) <https://github.com/TigerVNC/tigervnc/issues/684#issuecomment-494385395>

添付ファイル::

一意的なソリューション ID: #1053
製作者: n/a
最終更新: 2024-11-05 05:06